

Dell™ M209X プロジェクタ



ユーザーガイド



Dell™ M209X プロジェクタ ユーザーガイド

メモ、注意、警告

-  **メモ**：「メモ」は、プロジェクトの使用に際して役立つ重要な情報です。
-  **注意**：「注意」はハードウェアの破損やデータの損失を防ぐ方法について記載しています。
-  **警告**：「警告」は物的損害、人的傷害、もしくは死につながる潜在性を意味します。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2008 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標：Dell、DELL ロゴ、Dimension、OptiPlex、Dell Precision、Latitude、Inspiron、DellNet、PowerApp、PowerEdge、PowerConnect、PowerVault は Dell Inc. の商標です。DLP および DLP™ ロゴは TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。Microsoft および Windows は Microsoft Corporation の商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

モデル M209X

2008 年 5 月 改訂 A01

目次

1	プロジェクタについて	5
	プロジェクタについて	6
2	プロジェクタの接続	7
	コンピュータへの接続	8
	DVD プレーヤーへの接続	9
	S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	9
	コンポジットケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	10
	コンポーネントケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	11
	HDMI ケーブルを使った プレーヤーの接続	12
3	プロジェクタの使用方法	13
	プロジェクタの電源を入れる	13
	プロジェクタの電源を切る	13
	投影画像の調整	14
	プロジェクタの高さを上げる	14
	プロジェクタの高さを下げる	14
	プロジェクタのズームとフォーカスの調整	15

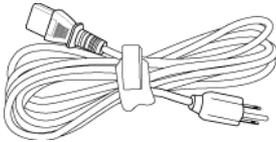
投影画像サイズの調整	16
コントロールパネルの使用方法	17
リモコンの使用方法	19
オンスクリーンディスプレイの使用方法	20
メインメニュー	21
入力選択	21
自動調整	21
セットアップ	22
ピクチャ (PC モード)	22
ピクチャ (ビデオモード)	23
ディスプレイ (PC モード)	24
ディスプレイ (ビデオモード)	25
ランプ	25
その他	27
4 プロジェクタのトラブルシューティング	30
ガイド信号	33
ランプの交換	34
5 仕様	36
デルへのお問い合わせ	39
6 付録：用語集	41

プロジェクタについて

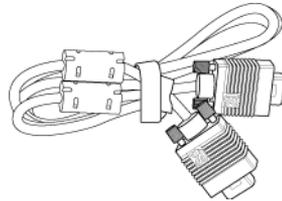
このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、デルまでご連絡ください。

同梱されているもの

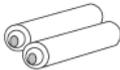
電源コード



1.8m VGA ケーブル (VGA - VGA)



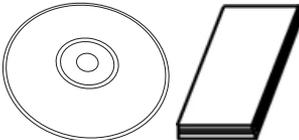
単 4 電池 (2)



リモコン



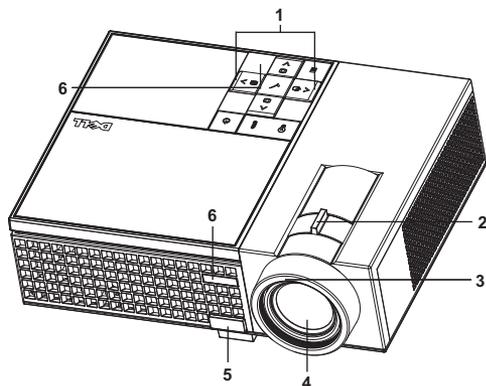
CD ユーザーガイドおよびドキュメント



キャリーケース



プロジェクタについて



1	コントロールパネル
2	ズームタブ
3	フォーカスリング
4	レンズ
5	エレベーターボタン
6	IR レシーバ

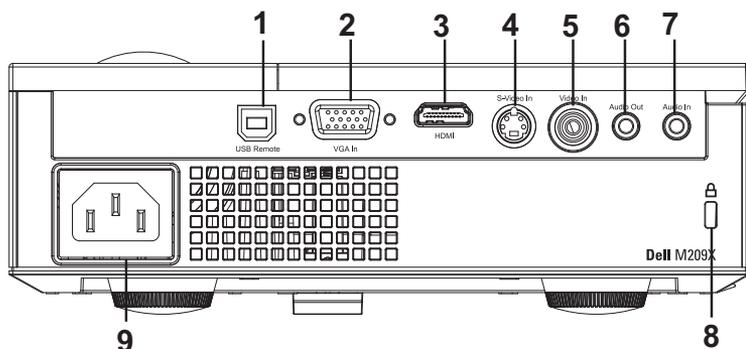
警告 : 安全上のご注意

- 1 プロジェクタ機器は熱を発するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。
- 4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。
- 5 プロジェクタは 5°C ~ 35°C の周囲温度で操作します。

 **メモ :** 詳しくは、プロジェクタに添付されている製品情報ガイドをご覧ください。

2

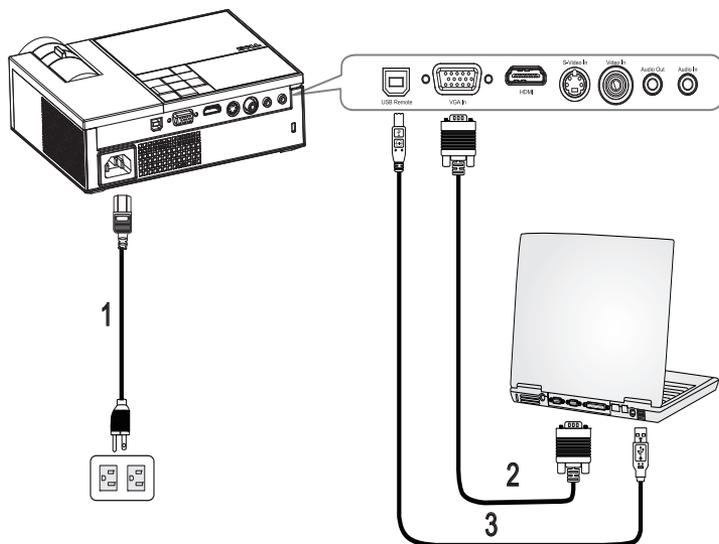
プロジェクタの接続



1	USB リモートコネクタ
2	VGA 入力コネクタ
3	HDMI 入力コネクタ
4	S ビデオ入力コネクタ
5	ビデオ入力コネクタ
6	オーディオ出力コネクタ
7	オーディオ入力コネクタ
8	セキュリティケーブルスロット
9	電源コードコネクタ

! 警告：この章にある接続処理をする前に、ページ 6.にある「安全上のご注意」をお読みください。

コンピュータへの接続

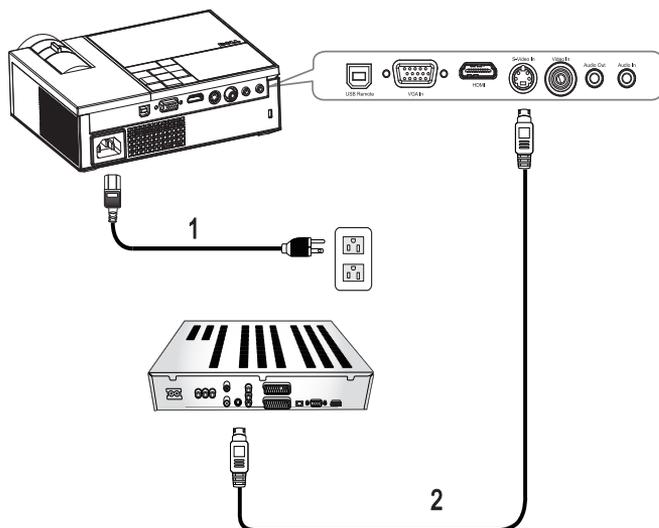


1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル
3	USB - USB ケーブル

 **メモ** : USB ケーブルは付属していません。

DVD プレーヤーへの接続

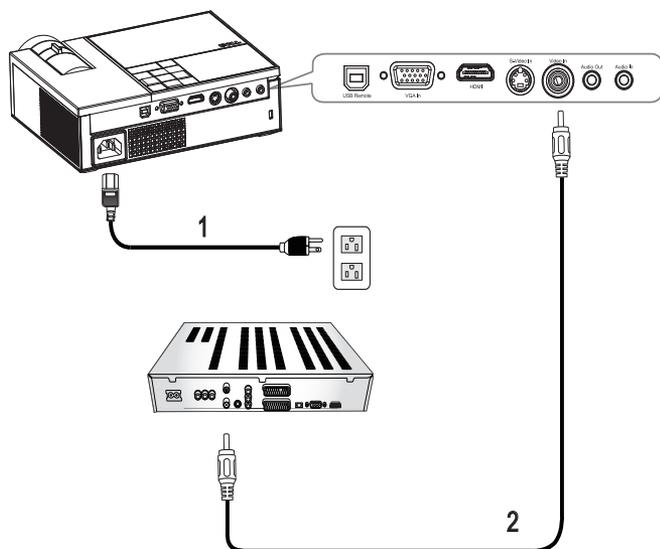
S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	S ビデオケーブル

 メモ : S ビデオケーブルは付属していません。

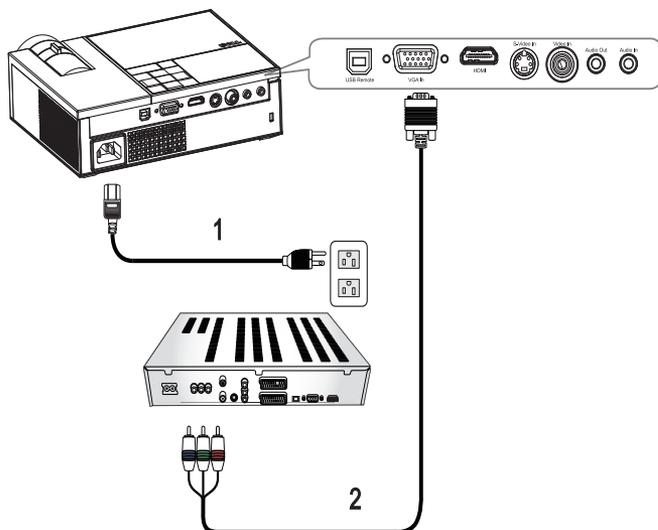
コンポジットケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	コンポジットビデオケーブル

 **メモ**：コンポジットビデオケーブルは付属していません。

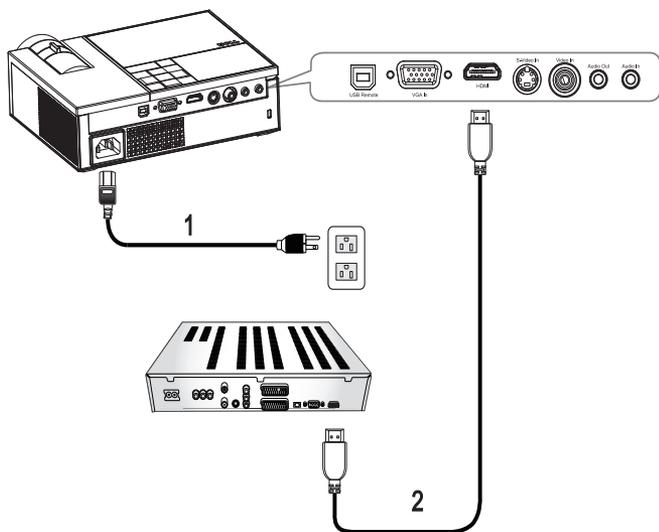
コンポーネントケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	D サブ - YPbPr ケーブル

 **メモ** : D サブ - YPbPr ケーブルは付属していません。

HDMI ケーブルを使った プレーヤーの接続



1	電源コード
2	HDMI ケーブル

 メモ : HDMI ケーブルは付属していません。

プロジェクタの使用方法

プロジェクタの電源を入れる

 **メモ:** プロジェクタの電源を入れてから、ソースの電源を入れます。電源ボタンを押すまで、ボタンは青色で点滅します。

- 1 レンズキャップを外します。
- 2 電源コードと適切な信号ケーブルを接続します。プロジェクタの接続については、「プロジェクタの接続」ページ 7 を参照してください。
- 3 電源ボタン  を押します（電源ボタン  の位置については、「コントロールパネルの使用方法」ページ 17 を参照してください）。
- 4 ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源を入れます。プロジェクタが自動的にソースを検出します。
- 5 信号が検出されない場合はデルのロゴが表示されます。

「信号を検索中です…」というメッセージが画面に表示される場合は、適切なケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。

プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルのソースボタンを押して、希望するソースを選択します。

プロジェクタの電源を切る

 **注意:** プロジェクタの接続を外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。

プロジェクタの電源を切る：

- 1 電源  ボタンを押します。
- 2 電源ボタン  をもう一度押してプロジェクタの電源を切ります。プロジェクタの冷却ファンが 90 秒間作動して、次にプロジェクタの電源が完全に切れます。
- 3 時間を掛けずにプロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの冷却ファンが作動中に電源ボタン  を押します。

 **メモ:** プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。

4 コンセントとプロジェクタから電源ケーブルの接続を外します。

メモ：プロジェクタが作動中に電源ボタン  を押すと、「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。」というメッセージが画面に表示されます。メッセージを消すには、コントロールパネルのいずれかのボタンを押します。メッセージは5秒後に消えます。

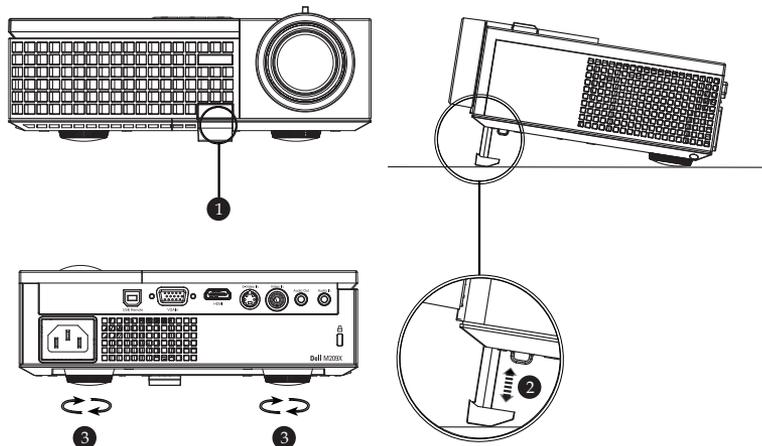
投影画像の調整

プロジェクタの高さを上げる

- 1 エレベーターボタンを押します。
- 2 プロジェクタを任意の高さまで上げ、ボタンを離してエレベーターフットを固定します。
- 3 傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

プロジェクタの高さを下げる

- 1 エレベーターボタンを押します。
- 2 プロジェクタを下げ、ボタンを離してエレベーターフットを固定します。

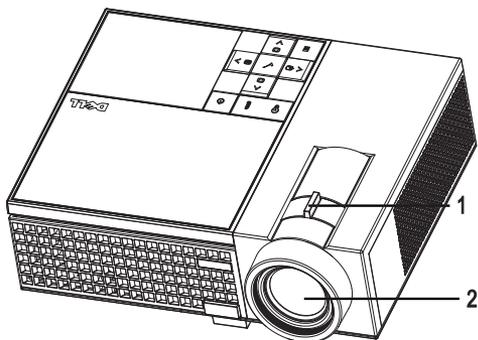


1	エレベーターボタン
2	エレベーターフット
3	傾斜調整ホイール

プロジェクタのズームとフォーカスの調整

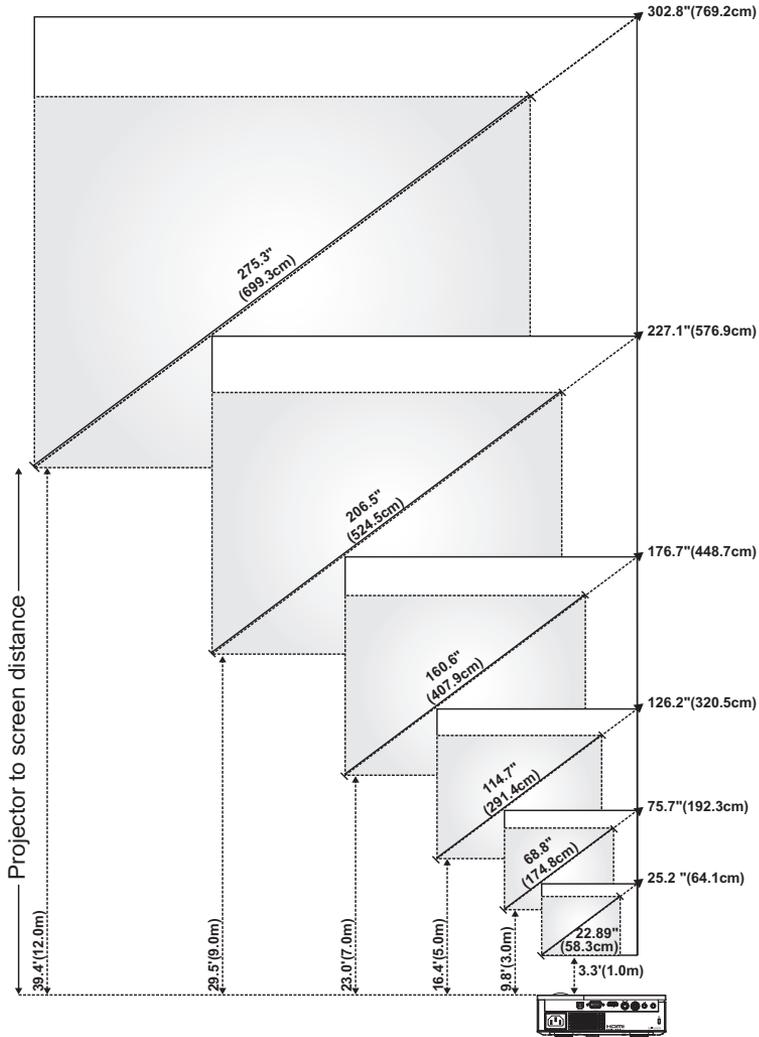
⚠ 警告：プロジェクタを移動したり、キャリーケースに収納する場合には、ズームレンズとエレベーターフットが完全に引っ込んでいることを確認して、プロジェクタが破損しないようにします。

- 1 ズームタブを回して拡大または縮小します。
- 2 画像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 3.3 ft ~ 39.4 ft (1.0 m ~ 12 m) です。



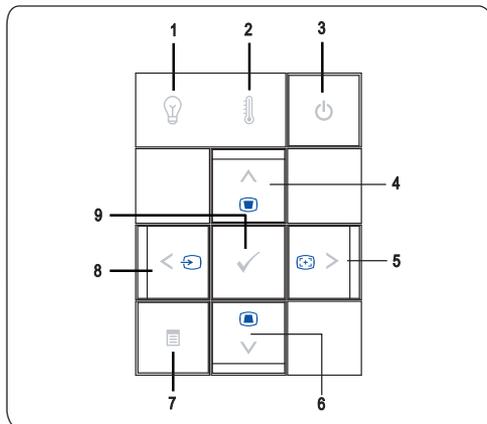
1	ズームタブ
2	フォーカスリング

投影画像サイズの調整



画面 (対角線)	最大	25.2" (64.1cm)	75.7" (192.3cm)	126.2" (320.5cm)	176.7" (448.7cm)	227.1" (576.9cm)	302.8" (769.2cm)
	最小	22.89" (58.3cm)	68.8" (174.8cm)	114.7" (291.4cm)	160.6" (407.9cm)	206.5" (524.5cm)	275.3" (699.3cm)
画面 サイズ	最大 (幅 x 高さ)	20.2"X15.1" (51.3cm X 38.5cm)	60.6" X45.4" (153.8cm X 115.4cm)	101.0" X 75.7" (256.4cm X 192.3cm)	141.3" X106" (359.0cm X 269.2cm)	181.7" X 136.3" (461.5cm X 346.2cm)	242.3" X 181.7" (615.4cm X 461.5cm)
	最小 (幅 x 高さ)	18.3" X 13.7" (46.5cm X 34.9cm)	55.1" X 41.3" (139.9cm X 104.9cm)	91.8" X 68.8" (233.1cm X 174.8cm)	128.5" X 96.4" (326.3cm X 244.8cm)	165.2" X 123.9" (419.6cm X 314.7cm)	220.3" X 165.2" (559.4cm X 419.6cm)
Hd	最大	2.27" (5.8cm)	6.81" (17.3cm)	11.36" (28.8cm)	15.9" (40.4cm)	20.44" (51.9cm)	27.26" (69.2cm)
	最小	2.06" (5.2cm)	6.19" (15.7cm)	10.32" (26.2cm)	14.45" (36.7cm)	18.58" (47.2cm)	24.78" (62.9cm)
投影距離		3.3' (1.0m)	9.8' (3.0m)	16.4' (5.0m)	23.0' (7.0m)	29.5' (9.0m)	39.4' (12.0m)
* この表はユーザーの参照用です。							

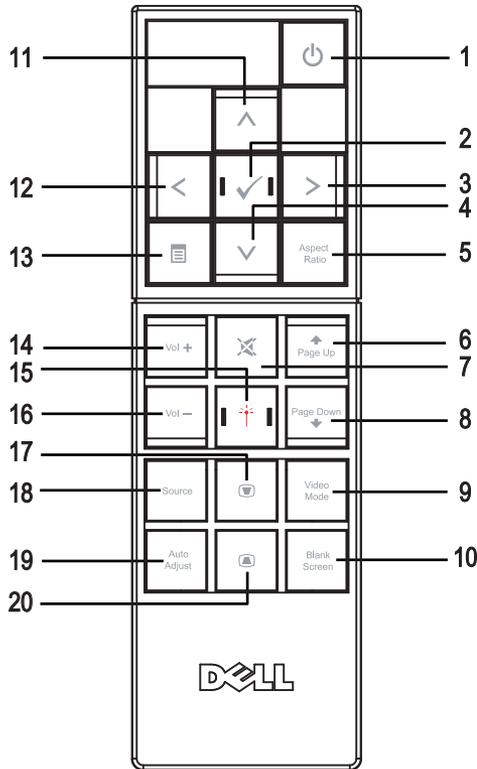
コントロールパネルの使用方法



- 1 ランプ💡警告ライト ランプライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。ランプライトがオレンジ色で点滅する場合は、システムエラーを意味します。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合はデルまでお問い合わせください。

2 温度警告ライト	<ul style="list-style-type: none"> 温度ライトがオレンジ色で点灯する場合は、プロジェクトが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクトが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合はデルまでお問い合わせください。 温度ライトがオレンジ色で点滅する場合は、プロジェクトのファンが故障し、プロジェクトが自動的にシャットダウンすることを示します。問題が解消しない場合はデルまでお問い合わせください。
3 電源	<p>プロジェクトの電源を入れたり切ります。詳しくは、"プロジェクトの電源を入れる「ページ 13 および"プロジェクトの電源を切る「ページ 13 を参照してください。</p>
4 アップ / Keystone adjustment (台形歪み調整)	<p>このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) 項目を選択します。</p> <p>このボタンを押して、プロジェクトを傾けた場合の歪みを調整します。 (+40/-35 度)</p>
5 > / Auto adjust (自動調整)	<p>このボタンを押して OSD 設定を調整します。</p> <p>このボタンを押して、プロジェクトと入力ソースを同期化します。OSD が表示されている場合は、自動調整は動作しません。</p>
6 ダウン / Keystone adjustment (台形歪み調整)	<p>このボタンを押して OSD 項目を選択します。</p> <p>このボタンを押して、プロジェクトを傾けた場合の歪みを調整します。 (+40/-35 度)</p>
7 メニュー	<p>このボタンを押して OSD を有効にします。方向キーと メニューボタンで をナビゲートします。</p>
8 < / ソース	<p>このボタンを押して OSD 設定を調整します。</p> <p>複数ソースがプロジェクトに接続されている場合には、このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (YPbPr、VGA 経由)、S ビデオ、HDMI ソースを切り替えます。</p>
9 エンター	<p>このボタンを押して選択項目を確定します。</p>

リモコンの使用方法



1	電源	プロジェクトの電源を入れたり切ります。詳しくは、「プロジェクトの電源を入れる」「ページ 13 および「プロジェクトの電源を切る」「ページ 13 を参照してください。
2	エンター	このボタンを押して選択を確定します。
3	右	このボタンを押して OSD 設定を調整します。
4	ダウン	このボタンを押して OSD 項目を選択します。
5	アスペクト比	このボタンを押して、表示された画像のアスペクト比を変更します。
6	ページアップ	このボタンを押して前のページへ移動します。
7	消音	このボタンを押して、プロジェクトのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。

8	ページダウン 	このボタンを押して次のページへ移動します。
9	ビデオモード	Dell M209X マイクロプロジェクタには、データ (PC グラフィック) やビデオ (ムービー、ゲームなど) の表示に最適なプリセット設定があります。 ビデオモード ボタンを押して、 PC モード 、 ムービーモード 、 ゲームモード 、 sRGB 、 カスタムモード (お好みの設定をセットアップして保存したいユーザー向け) を切り替えます。 ビデオモード ボタンを1回押すと、現在のディスプレイモードが表示されます。もう一度 ビデオモード ボタンを押すと、モードが切り替わります。
10	ブランク画面	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
11	アップ 	このボタンを押して OSD 項目を選択します。
12	左 	このボタンを押して OSD 設定を調整します。
13	メニュー 	このボタンを押して OSD を有効にします。
14	音量アップ 	このボタンを押して音量を上げます。
15	レーザー 	リモコンを画面に向け、レーザーボタンを押し続けてレーザーライトを有効にします。
16	音量ダウン 	このボタンを押してボリュームを下げます。
17	台形歪み調整 	このボタンを押して、プロジェクタを傾けた場合の歪みを調整します。 (+40/-35 度)
18	ソース	このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (YpbPr、VGA 経由)、HDMI、S ビデオソースを切り替えます。
19	Auto adjust (自動調整)	このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。OSD が表示されている場合は、自動調整は動作しません。
20	台形歪み調整 	このボタンを押して、プロジェクタを傾けた場合の歪みを調整します。 (+40/-35 度)

オンスクリーンディスプレイの使用法

プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ (OSD) があり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。

メインメニューで  または  を押してタブの間を移動します。コントロー

ルパネルまたはリモコンの**エンター**ボタン  を押してサブメニューを選択します。

サブメニューで  または  を押して選択します。項目を選択すると、色が濃い灰色になります。コントロールパネルまたはリモコンの  または  を使って設定を調整します。

メインメニューに戻るには、**戻る** タブに進み、コントロールパネルまたはリモコンの**エンター**ボタン  を押します。

OSD を終了するには、**終了** タブに進み、コントロールパネルまたはリモコンの**エンター**ボタン  または**メニュー** ボタン  を押します。

メインメニュー



入力選択



自動ソース—オン（初期設定）を選択すると、使用可能な入力信号を自動検出します。**オン**を選択し、コントロールパネルまたはリモコンの**ソース**を押すと、次の使用可能な入力信号を自動検出します。

オフを選択して、現在の入力信号をロックしたり、使用したい入力信号を手動で選択します。**オフ**を選択して**ソース**を押し、使用したい入力信号を選択します。

VGA—**エンター**を押して VGA 信号を検出します。

S ビデオ—**エンター**を押して S ビデオ信号を検出します。

コンポジットビデオ—**エンター**を押してコンポジットビデオ信号を検出します。

HDMI—**エンター**を押して HDMI 信号を検出します。

自動調整



ディスプレイ設定の自動調整中は「**自動調整が進行中です...**」と表示されます。

セットアップ



垂直キーストーン—プロジェクタを傾けた場合の歪みを調整します。

自動キーストーン—プロジェクタを傾けた場合の画像の歪みを自動調整します。

投影モード—画像の表示方法を選択します：

-  デスクトップ前面投影 (初期設定)。
-  デスクトップ背面投影 - プロジェクタは画像を反転表示します。透過画面の裏面から投影することができます。

縦横比—アスペクト比を選択して画像の表示方法を調整します。

-  オリジナル—オリジナルを選択して入力ソースに従って投影画像のアスペクト比を維持します。
-  4:3—入力ソースを調整して画面に合わせ、4:3 画像を投影します。
-  ワイド—入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、ワイドスクリーン画像を投影します。

プロジェクト情報—プロジェクトのモデル名、現在の入力ソース、シリーズ番号 (PPID#) を表示します。

ピクチャ (PC モード)



明るさ— または  を使って画像の輝度を調整します。

コントラスト— または  を使って画像の最も明るい部分と最も暗い部分の違いを調整します。コントラストを調整すると、画像の白と黒の量が増減します。

色温度—色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。ユーザーが色調整メニューの値を調整するとカスタムモードが有効になり、値はカスタムモードに保存されます。

色調整—手動で赤、緑、青の色を調整します。

ピクチャ（ビデオモード）



明るさ—またはを使って画像の輝度を調整します。

コントラスト—またはを使って画像の最も明るい部分と最も暗い部分の違いを調整します。コントラストを調整すると、画像の白と黒の量が増減します。

色温度—色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。ユーザーが色調整メニューの値を調整するとカスタムモードが有効になり、値はカス

タムモードに保存されます。

色調整—手動で赤、緑、青の色を調整します。

彩度—ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。を押して画像の色の量を減らし、を押して色の量を増やします。

鮮明度—を押してシャープネスを下げ、を押してシャープネスを上げます。

色合い—を押して画像の緑色の量を増やし、を押して赤色の量を増やします（NTSC 信号用にはのみ選択可能）。

ディスプレイ (PC モード)



ビデオモード—プロジェクトクを使用するディスプレイを最適化するモードを選択します:**PC、映画、sRGB** (より精密な色を提供します)、**ゲーム、カスタム** (お好みの設定を設定します)。**白の強度**または**ガンマ補正**の設定を調整すると、プロジェクトは自動的に**カスタム**に切り替わります。

信号の種類—RGB、YCbCr、YPbPr の信号の種類から手動で選択します。

ズーム—を押して画

面の中心にある画像の初期設定領域をデジタルに拡大し、 to を押してズームした画像を縮小します。

ズームナビゲーション— を押して投影画面をナビゲートします。

白の強度—0 に設定して色の再現性を最大化し、10 に設定して輝度を最大化します。

ガンマ補正—4 つの既定値を調整しディスプレイのカラーパフォーマンスを変更します。

水平位置— を押して画像の水平位置を左へ、 を押して水平位置を右へ移動します。

垂直位置— を押して画像の垂直位置を下へ、 を押して垂直位置を上へ移動します。

周波数—ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、**周波数コントロール**を使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。

トラッキング—ディスプレイ信号の位相をグラフィックカードと同期化します。画像が不安定だったりちらつく場合は、**トラッキング**を使って修正します。これは微調整です。

ディスプレイ（ビデオモード）



ビデオモード—プロジェクタを使用するディスプレイを最適化するモードを選択します：**PC、映画、sRGB**（より精密な色を提供します）、**ゲーム、カスタム**（お好みの設定を設定します）。**白の強度**または**ガンマ補正**の設定を調整すると、プロジェクタは自動的に**カスタム**に切り替わります。

す。

信号の種類—RGB、YCbCr、YPbPrの信号の種類を手動で選択します。

ズーム—を押して画面の中心にある画像の初期設定領域をデジタルに拡大し、を押してズームした画像を縮小します。

ズームナビゲーション— を押して投影画面をナビゲートします。

白の強度—0に設定して色の再現性を最大化し、10に設定して輝度を最大化します。

ガンマ補正—4つの既定値を調整しディスプレイのカラーパフォーマンスを変更します。

ランプ



ランプ寿命—最後にランプタイマーをリセットしてからの経過時間を表示します。

省電力—はいを選択して省電力遅延時間を設定します。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクタが待機する時間です。初期設定では、遅延時間は120分に設定されています。遅延時間は、5分、15分、30分、45分、60分、120分に設定できます。

遅延時間内に入力信号が検出されない場合は、プロジェクタはランプをオフにして、省電力モードになります。遅延時間内で入力信号が検出されると、

プロジェクタは自動的にオンになります。2時間以内に入力信号が検出されない場合は、プロジェクタは省電力モードから電源オフモードに切り替わります。プロジェクタの電源を入れるには電源ボタンを押します。

エコモード—オンを選択して低電力レベル（136 W）でプロジェクタを使用します。低電力レベルで動作すると、ランプの寿命が延び、操作が静かになり、また、画面上のルミナンス出力が弱くなります。**オフ**を選択すると通常の電力（165 W）レベルで動作します。

ランプリセット—新しいランプを取り付けた後で、**はい**を選択してランプタイマーをリセットします。

クイックシャットダウン—**はい**を選択し、電源ボタンを一回押してプロジェクタの電源を切ります。この機能で、ファンの速度を上げてプロジェクタの冷却時間を短縮します。



メモ:クイックシャットダウンを有効にすると、電源を切る際に幾分大きいノイズがあります。

言語



その他



ボリューム—を押して音量を下げ、を押して音量を上げます。

消音—サウンドを消音にします。

オーディオソース

HDMI または **アナログ** (オーディオ入力) をオーディオソースとして選択して使用します。

カスタム画面

—エンターを押します。「カスタム画面」メニューが表示されます。「はい」を選択して、画面画像を「マイカスタマイズロゴ」にします。この画面をデルのロゴのある元の画面

とすべて置き換えます。ポップアップ画面で「Dell ロゴ」を選択して、初期設定画面に戻すことができます。

メモ：フル画像にするには、プロジェクトに接続している入力信号が 1024x768 解像度であることを確認します。

メニューロック—オンを選択すると、メニューロックが有効になり、OSD メニューが非表示になります。オフを選択するとメニューロックが無効になります。メニューロック機能を無効にして OSD を非表示にしたい場合は、コントロールパネルまたはリモコンの **メニュー** ボタンを 15 秒間押し、次に機能を無効にします。

メニュータイムアウト—OSD タイムアウトの遅延時間を調整します。初期設定は 30 秒です。

メニュー位置—OSD の画面上の位置を選択します。

メニューの透明度—OSD 背景の透明度レベルを選択します。

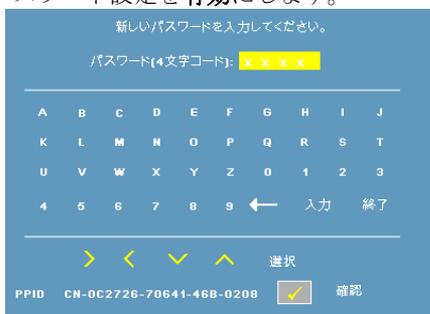
パスワード—パスワードでプロジェクトを保護します。このセキュリティ機能で、さまざまなアクセス制限を設定して、ユーザのプライバシーを保護し、他人がプロジェクトに手を加えることができないようにします。プロジェクトを許可なく持ち去っても使用できないため、盗難防止機能として役立ちます。

オンを選択してパスワード保護を有効にします。**パスワードを入力してください**。画面が表示され、次回プロジェクトの電源を入れるとパスワードの入力が求められます。オフを選択してパスワード保護を無効にします。

 **メモ**：初期設定ではパスワード保護は無効です。

この機能を有効にすると、プロジェクトの電源を入れるとパスワードの入力が求められます。

- 1 初回パスワード入力の要請
 - a その他メニューに進み、**エンター**を押して、次に**パスワード**を選択してパスワード設定を**有効**にします。



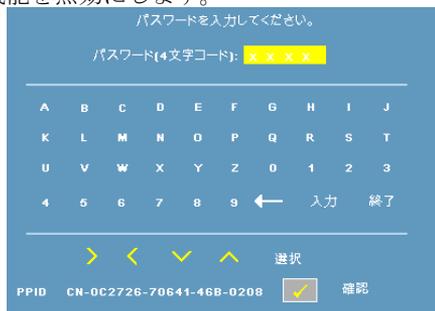
- b パスワード機能を有効にすると、文字画面がポップアップ表示されます。4桁の番号を画面から入力して**エンター**ボタンを押します。



- c 確認のため、パスワードをもう一度入力します。
 - d パスワードが認証されると、プロジェクトの機能とユーティリティにアクセスできます。
- 2 間違ったパスワードを入力した場合は、あと2回で正しいパスワードを入力する必要があります。3回無効なパスワードを入力すると、プロジェクトは自動的にオフになります。

 **メモ**：パスワードを忘れた場合は、デルまでご連絡ください。

- 3 パスワード機能をキャンセルする場合は、**オフ**を選択し、パスワードを入力して機能を無効にします。



パスワードの変更—パスワードを変更します。元のパスワードを入力し、次に、新しいパスワードを入力します。新しいパスワードをもう一度入力して確認します。



テストパターン—1 または **2** を選択して、内蔵テストパターンを有効にし、フォーカスと解像度をテストします。**オフ** を選択すると機能は無効になります。

- 1 診断テストパターン 1 を実行するには、プロジェクトのコントロールパネルにあるメニューボタンと  ボタンを同時に 2 秒間押し続けます。
- 2 診断テストパターン 2 を実行するには、プロジェクトのコントロールパネルにあるメニューボタンと  ボタンを同時に 2 秒間押し続けます。

 **メモ**：テストパターン 2 を有効にするには、1 つの入力信号をプロジェクトに接続する必要があります。

出荷時にリセット—オンを選択して、プロジェクトを工場出荷時の初期設定にリセットします。

プロジェクトのトラブルシューティング

プロジェクトに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合はデルまでお問い合わせください（デルへのお問い合わせ ページ 39 をご覧ください）。

問題

画面に画像が表示されません。

解決方法

- レンズキャップを外して、プロジェクトの電源が入っていることを確認します。
 - 外部グラフィックポートが有効になっていることを確認します。デルノートパソコンをご使用の場合は   (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。
 - すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。プロジェクトの接続 ページ 7 をご覧ください。
 - コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
 - ランプがしっかりと取り付けられていることを確認します。ガイド信号 ページ 33 をご覧ください。
 - **その他**メニューの**テストパターン**を使います。テストパターンの色が正しいことを確認します。
-

問題 (続く)

画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない。

解決方法 (続く)

- 1 リモコンまたはコントロールパネルの**自動調整**ボタンを押します。
- 2 デルノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を XGA (1024 x 768) に設定します。
 - a Windows デスクトップの使っていない部分を右クリックし、**プロパティ**をクリックして、次に、**設定**タブを選択します。
 - b 外部モニターポートの設定が 1024 x 768 ピクセルになっていることを確認します。
 - c   (Fn+F8) を押します。

解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクトを再起動します。

デルノートパソコンをお使いでない場合は、詳細について取扱説明書をお読みください。

画面にプレゼンテーションが表示されない。

ノートパソコンをお使いの場合は、  (Fn+F8) を押します。

画像が不安定、または、ちらつく。

OSD **ディスプレイ**サブメニューでトラッキングを調整します (PC モードのみ)。

画像に縦線が入る。

OSD **ディスプレイ**サブメニューで周波数を調整します (PC モードのみ)。

画像の色が正しくない。

- グラフィックカードの出力信号が緑に同期化しており、VGA を 60Hz 信号で表示したい場合は、OSD で**ディスプレイ**を選択し、**信号の種類**を選択して、次に、**RGB**を選択します。
- **その他**メニューの**テストパターン**を使います。テストパターンの色が正しいことを確認します。

問題 (続く)	解決方法 (続く)
画像の焦点が合わない。	<ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。 2 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (3.3 ft [1.0 m] ~ 39.4 ft [12 m])。
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる。	<p>プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像のアスペクト比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。</p> <p>画像が伸びる場合は、次のようにアスペクト比を調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • を再生している場合は、プレーヤーで 4:3 アスペクト比を選択します。 • DVD プレーヤーで 4:3 のアスペクト比を選択できない場合は、OSD の 設定メニュー で 4:3 アスペクト比を選択します。
画像が反転する。	OSD で 設定 を選択し、プロジェクタモードを調整します。
ランプが切れた、または、音がする。	ランプの寿命がなくなると、切れたり音がすることがあります。この場合は、プロジェクタの電源は入りません。ランプを交換するには、ページ 33 を参照してください。
OSD が画面に表示されない。	コントロールパネルまたはリモコンにある メニューボタン を 15 秒押しして OSD のロックを解除します。 メニューロック ページ 27 を確認します。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。	電池の残量が少なくなっています。リモコンからのレーザービームが弱過ぎないか点検します。レーザービームが弱い場合は、新しい単 4 電池 2 本と交換します。

ガイド信号

プロジェクト ステータス	説明	コントロールボタン			インジケータ	
		電源	メニュー	その他	温度 (オレンジ色)	ランプ (オレンジ色)
スタンバイモード	スタンバイモードのプロジェクト。電源を入れる準備ができました。	青色で点滅	オフ	オフ	オフ	オフ
ウォームアップモード	プロジェクトをウォームアップして電源を入れるまでしばらく時間が掛かります。	青色	青色	青色	オフ	オフ
ランプ点灯	通常モードのプロジェクト。画像表示の準備ができました。 メモ:OSDメニューにアクセスしていません。	青色	青色	オフ	オフ	オフ
冷却モード	プロジェクトは冷却してシャットダウンします。	青色	オフ	オフ	オフ	オフ
省電力モード	省電力モードが有効です。2時間以内に入力信号が検出されないと、プロジェクトは自動的にスタンバイモードになります。	オレンジ色で点滅	オフ	オフ	オフ	オフ
省電力モード前の冷却。	プロジェクトは、省電力モードになる前に60秒間冷却します。	オレンジ色	オフ	オフ	オフ	オフ
プロジェクトが過熱しています	通気口が塞がれているか、周囲温度が35°Cを超えていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。通気口が詰まっておらず、周囲温度が動作範囲内にあることを確認します。問題が解消しない場合はデルまでお問い合わせください。	オフ	オフ	オフ	オレンジ色	オフ
ランプが過熱しています	ランプが過熱しています。通気口が詰まっていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。プロジェクトが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合はデルまでお問い合わせください。	青色	オフ	オフ	オレンジ色	オフ
ランプドライバが過熱しています	ランプドライバが過熱しています。通気口が詰まっていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。プロジェクトが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合はデルまでお問い合わせください。	オレンジ色	オフ	オフ	オレンジ色	オフ
ファンが故障しています	ファンの1つが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合はデルまでお問い合わせください。	オフ	オフ	オフ	オレンジ色で点滅	オフ
ランプドライバが故障しています	ランプドライバが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、ディスプレイをもう一度オンにします。問題が解消しない場合はデルまでお問い合わせください。	オレンジ色で点滅	オフ	オフ	オフ	オレンジ色で点滅
カラーホイールが故障しています	カラーホイールは始動しません。プロジェクトが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオンにします。プロジェクトをもう一度オンにします。問題が解消しない場合はデルまでお問い合わせください。	青色	オフ	オフ	オレンジ色で点滅	オレンジ色で点滅
ランプが故障しています	ランプが故障しています。ランプを交換します。	オフ	オフ	オフ	オフ	オレンジ色
エラー - DC 供給 (+12V)	電源供給が中断されました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオンにします。問題が解消しない場合はデルまでお問い合わせください。	オレンジ色で点滅	オフ	オフ	オレンジ色	オレンジ色
エラー - DC 供給 (二次)	電源供給が中断されました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオンにします。問題が解消しない場合はデルまでお問い合わせください。	オレンジ色で点滅	オフ	オフ	オレンジ色	オフ

* その他: コントロールパネルのコントロールボタン (電源ボタンおよびメニューボタンを除く)

ランプの交換

プロジェクタランプの寿命が短くなり、交換が必要になると、次のメッセージが画面に表示されます：

ランプは全出力操作で耐用年数の終わりに達しています。交換をお勧めします。 www.dell.com/lamps

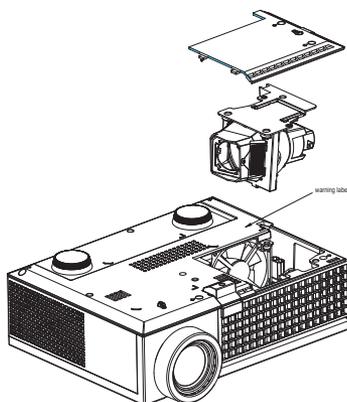
-  **警告：**この章で説明する交換処理の前に、ページ 6にある「安全上のご注意」をお読みください。
-  **警告：**ランプは使用中は大変熱くなります。ランプを交換する前に、少なくとも 30 分間プロジェクタを冷却します。
-  **警告：**ランプやランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプは壊れやすく、触れると破損することがあります。破損した鋭いガラスの破片で怪我をすることがあります。
-  **警告：**ランプが壊れた場合は、破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくは www.dell.com/hg をご覧ください。

ランプを交換する：

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 ランプカバーを固定している 2 本のネジを緩めてカバーを取り外します。
- 4 ランプを固定している 2 本のネジを緩めます。
- 5 金属製のハンドルを持ってランプを取り出します。

 **メモ：**デルは、保証によって交換したランプの返却をお願いする場合がございます。その他の場合は、ランプを廃棄またはリサイクリングします。詳しくは、「ランプの廃棄」ページ 35 をご覧ください。

- 6 新しいランプと交換します。
- 7 ランプを固定する 2 本のネジを締めます。
- 8 ランプカバーを元に戻して 2 本のネジを締めます。
- 9 OSD ランプメニューにあるランプリセットではいを選択して、ランプ使用時間をリセットします。（ランプメニューページ 25 をご覧ください）





警告：ランプの廃棄（米国のみ）

ⓁⓂ 当製品内部のランプには水銀が含まれています。お住まいの地域、州および国の規定に従って廃棄してください。詳しくは、WWW.DELL.COM/HG、または、《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト WWW.EIAE.ORG をご覧ください。ランプ別の廃棄方法については WWW.LAMPRECYCLE.ORG をご覧ください。

5

仕様

ライトバルブ	シングルチップ 0.55" XGA DMD タイプ X、DarkChip™2
輝度	2000 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	1800:1 標準 (フルオン/フルオフ)
均質性	80% 標準 (日本規格 - JBMA (日本事務機械工業会))
画素数	1024 x 768 (XGA)
表示可能な色	16.7M 色
カラーホイール速度	100~127.5Hz (2X) 映画モードで 150Hz (3X)
投影レンズ	F/2.41~2.55、f=21.8~24.0 mm、1.1 倍マニキュアルズームレンズ付き
投影画面サイズ	22.89-302.8 インチ (対角線)
投影距離	3.3~39.4 ft (1.0 m~12 m)
ビデオ互換性	コンポジットビデオビデオ / S ビデオ : NTSC (J, M, 4.43), PAL (B, D, G, H, I, M, N, Nc, 60), SECAM (B, D, G, K, K1, L) コンポーネントビデオ (VGA & HDMI 経由): 1080i/p, 720p, 576i/p, 480i/p
電力供給	ユニバーサル 90-264V AC 50-60Hz、PFC 入力付き
消費電力	フルモードで 205 W、エコモードで 165 W < 電源オフモードで 3 W
オーディオ	1 W スピーカー
ノイズレベル	39 dB(A) フルオンモード、32 dB(A) エコモード

質量	2.6 lbs (1.18 kg)
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	外形 8.07 x 6.10 x 2.85 ± 0.04 インチ (205 x 155 x 72.5 ± 1 mm)
環境条件	動作温度 : 5°C - 35°C (41°F- 95°F) 湿度 : 80% 最大 保管温度 : 0°C ~ 60°C (32°F ~ 140°F) 湿度 : 90% 最大
規格	FCC、CE、VCCI、UL、cUL、Nemko-GS、ICES-003、MIC、C-Tick、CCC、PSB、NOM、SABS、eK
I/O コネクタ	電源 : AC 電源入力ソケット コンピュータ入力 : アナログ / コンポーネント、HD テレビ入力信号用 D サブ x 1 ビデオ入力 : コンポジットビデオ RCA x 1 および S ビデオ x 1 オーディオ入力 : フォンジャック x 1 (直径 3.5 mm) オーディオ出力 : フォンジャック x 1 (直径 3.5 mm) USB ポート : リモートサポート用 USB スレーブ x 1 HDMI 入力 : HDMI 1.1 をサポート。HDCP 準拠
ランプ	165-W ユーザ交換可能 3000 時間ランプ (エコモードで最大 5000 時間)

 **メモ:** プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件でプロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。Dell のプロジェクタに対して指定されたランプ寿命は、ストレスのない操作条件下で、50% 以上のサンプリング集団に対して、ランプの定格された明るさレベルが約 50% 低減した場合の標準時間を参照しています。これは、ランプが光熱出力を停止する時間の単位ではありません。

互換モード（アナログ/デジタル）

解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)
640X480	59.9	31.5
640X480	75	37.5
640X480	85	43.3
720X400	70.1	31.5
720X400	85	37.9
800X600	60.3	37.9
800X600	75	46.9
800X600	85.1	53.7
848X480	60	31
1024X768	60	48.4
1024X768	75	60
1024X768	85	68.7
1152X864	75	67.5
1280X720	59.9	44.8
1280X768	59.9	47.8
1280X800	59.8	49.7
1280X1024	60	64
1280X1024	75	80
1280X1024	85	91.1
1360X768	60	47.7
1400X1050	60	65.3
1440X900	59.9	55.9
1680X1050	60	65.3
1600X1200	60	75

デルへのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。



メモ：インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、またはデル製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

デルでは、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関するデルへのお問い合わせ：

- 1 support.dell.com をご覧ください。
- 2 ページの一番下にある **国 / 地域を選択する** ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
- 3 ページの左側にある **連絡する** をクリックします。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。
- 5 デルへの連絡方法を選択します。

付録：用語集

ANSI ルーメン—光出力の単位で、プロジェクタを比較するために用います。輝度の単位です。1平方メートルの画像を、9つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または輝度）を測定して、9つの点の平均値を求めて算出します。

アスペクト比—最も一般的なアスペクト比は4:3（4x3）です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は4:3アスペクト比です。つまり、画像の幅は画像の高さの4/3倍になります。

輝度—ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です。プロジェクタの輝度はANSIルーメンで表されます。

色温度—白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強く）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン（K）です。

コンポーネントビデオ—元の画像のすべての要素を含む形式で高品質のビデオを伝送する方法です。ルミネランス信号と2つの独立したクロミナンス信号から成り、アナログコンポーネントではY'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントではY'Cb'Cr'と定義されます。コンポーネントビデオはDVDプレーヤーやプロジェクタで使用できます。

コンジットビデオ．ルーマ（輝度）、クロマ（色）、バースト（色参照）、シンク（水平および垂直同期化信号）を1つのワイヤペアで伝送される1つの波形に統合するビデオ信号です。NTSC、PAL、SECAMの3つの形式があります。

圧縮解像度—入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

コントラスト比—画像の明るさの値と暗さの値の範囲、または、最大値と最小値の比率。プロジェクタ業界では2つのコントラスト比の測定方法が使われています。

1 フルオン/ オフ-完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。

2 ANSI-16の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSIコントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、フルオン/ オフコントラストはANSIコントラストよりも大きい値になります。

dB．デシベル．通常、2つの音響信号または電子信号の間で電力と強度の相対的な差異を表す単位で、2つのレベルの比率の常用対数の10倍に相当します。

対角画面 —画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1つの角から対角線上の角までを測定します。9FT 高さ、12FT 幅の画面の対角線は15FT です。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の 4:3 の比率用とみなします。

DLP®— Digital Light Processing™ デジタル光処理™ —Texas Instruments 社が開発した反射型ディスプレイ技術、小型操作ミラーを使用。光がカラーフィルターを通して DLP ミラーへ伝送されます。DLP ミラーが RGB 色を画面に投影される画像に配色します。DMD とも呼ばれます。

DMD— digital Micro— Mirror Device (デジタル・マイクロミラー・デバイス) —各 DMD は、見えないヨークに取り付けられた数千の傾斜した微視的なアルミニウム合金ミラーから成ります。

焦点距離 — レンズの表面からその焦点までの距離。

周波数 —電子信号の 1 秒当たりの周期の繰返し速度です。単位は Hz です。

HDMI— High Definition Multimedia Interface (ハイデフィニション・マルチメディア・インターフェース)、デジタルオーディオ付きの未圧縮の高解像度ビデオとデバイスコントロールデータを 1 つのコネクタで伝送します。

Hz — ヘルツ、周波数の単位。

台形歪み補正 — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み (通常、上部が広く下部が細くなる現象) を補正するデバイスです。

レーザーポインタ — 小型の電池駆動式の赤い (標準) レーザーを含むペンやタバコサイズのポインタ。画面上で大変分かり易い高密度ビームです。

最大距離 — プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な (十分に明るい) 画像を投影できる画面からの距離。

最大画像サイズ — 暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品焦点範囲によって制限されます。

最小距離 — プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることのできる最小距離。

NTSC— 全米テレビ放送規格委員会)。ビデオおよび放送用の北米規格、525 ライン・30 フレーム毎秒のビデオ形式。

PAL— Phase Alternating Line (走査線位相反転)。ビデオおよび放送用の欧州放送規格。625 ライン・25 フレーム毎秒のビデオ形式。

画像の反転 — 画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

RGB— Red, Green, Blue (赤、緑、青) —3 色それぞれに別々の信号を必要とするモニターを指します。

S ビデオ—4 ピンの小型 DIN コネクタを使って、ルミナンス（輝度、Y）とクロミナンス（色、C）と呼ばれる 2 本の信号ワイヤでビデオ情報を送信するビデオ伝送方法です。S ビデオは Y/C とも呼ばれます。

SECAM—ビデオおよび放送用のフランスおよび国際的な放送規格、PAL に大変似ていますが、色情報の伝送方法が異なります。

SVGA—Super Video Graphics Array（スーパービデオグラフィックスアレイ）—800 x 600 ピクセル。

SXGA—Super Extended Graphics Array（スーパー拡張グラフィックスアレイ）—1280 x 1024 ピクセル。

UXGA—Ultra Extended Graphics Array（超拡張グラフィックスアレイ）—1600 x 1200 ピクセル。

VGA—Video Graphics Array（ビデオグラフィックスアレイ）—640 x 480 ピクセル。

XGA—Extended Video Graphics Array（拡張ビデオグラフィックスアレイ）—1024 x 768 ピクセル。

ズームレンズ—可変式焦点距離のレンズで、画像を縮小したり拡大して表示できます。

ズームレンズ比—レンズが固定距離から投影できる最小画像と最大画像の比率です。例えば、1.4:1 ズームレンズ比とは、ズームなしの 10 フィート画像が、フルズームでは 14 フィートになることを意味します。

索引

お

- オンスクリーンディスプレイ 20
 - その他 27
- セットアップ 22
- ディスプレイ (PC モード) 24
- ディスプレイ (ビデオモード) 25
- ピクチャ (PC モード) 22
- ピクチャ (ビデオモード) 23
- メインメニュー 21
- ランプ 25
- 言語 26
- 自動調整 21
- 入力選択 21

か

- ガイド 33
- コントロールパネル 17

さ

- サポート
 - デルへのお問い合わせ 39
- 仕様
 - I/O コネクタ 37
 - オーディオ 37
 - カラーホイール速度 36
 - コントラスト比 36
 - ノイズレベル 37

- ビデオ互換性 36
- ライトバルブ 36
- ランプ 36
- 画素数 36
- 環境条件 37
- 規格 37
- 輝度 36
- 均質性 36
- 互換モード 38
- 質量 37
- 消費電力 37
- 寸法 37
- 電力供給 36
- 投影レンズ 36
- 投影画面サイズ 36
- 投影距離 36
- 表示可能な色 36

接続ポート

- HDMI 入力コネクタ 7
- S ビデオ入力コネクタ 7
- USB リモートコネクタ 7
- VGA 入力 (D サブ) コネクタ 7
- オーディオ出力コネクタ 7
- オーディオ入力コネクタ 7
- ケンジントンロック穴 7
- ビデオ入力コネクタ 7
- 電源コードコネクタ 7

た

デルへの

お問い合わせ 39

デルへのお問い合わせ 5, 17, 18, 39

トラブルシューティング 30

デルへのお問い合わせ 30

電話番号 39

投影画像の調整 14

プロジェクタの高さ調整 14

プロジェクタを下げる

エレベーターフット 14

エレベーターボタン 14

傾斜調整ホイール 14

コンポジットビデオケーブル
10

電源コード 8, 9, 10, 11, 12

プロジェクタの電源を入れる /
切る

プロジェクタの電源を切る 13

プロジェクタの電源を入れる
13

本体 6

IR レシーバ 6

エレベーターボタン 6

コントロールパネル 6

ズームタブ 6

フォーカスリング 6

レンズ 6

は

プロジェクタのズームとフォー
カスの調整 15

ズームタブ 15

フォーカスリング 15

プロジェクタの接続

D サブ - D サブケーブル 8

D サブ - YPbPr ケーブル 11

HDMI ケーブル 12

HDMI ケーブルでの接続 12

S ビデオケーブル 9

S ビデオケーブルでの接続 9

USB - USB ケーブル 8

コンピュータへ 8

コンポーネントケーブルでの
接続 11

コンポジットケーブルでの接
続 10

ら

ランプの交換 34

リモコン 19



Printed in China